



リソース レコード

この章では、Cisco Prime Network Registrar でサポートされているすべてのリソースレコードタイプを示します。

- [リソース レコード \(1 ページ\)](#)

リソース レコード

リソース レコードは、DNS ゾーン内のデータを構成します。ゾーンが所有できるリソース レコードの数に一定の制限はありません。一般に、特定タイプのリソース レコードは 0 件、1 件、または複数存在します。ただし、ゾーンに存在できる特定タイプのレコードの数は制限されています。

すべてのリソース レコードには、次の必須エントリがあります。

- **Name** : example.com など、レコードを所有する名前 (ホスト)。
- **Class** (すべてのフォーマットには必要ありません) : DNS はレコードの IN (インターネット) クラスのみをサポートします。
- **TTL** : レコードをキャッシュに保存する時間 (秒単位)。TTL が指定されていない場合は、Cisco Prime Network Registrar は SOA リソース レコードで定義されたゾーンのデフォルト TTL を使用します。
- **Type** : レコードのタイプ (A、NS、SOA、MX など)。さまざまな RFC で多くのタイプが定義されていますが、一般的に使用されているタイプの数は 10 以下です。
- **Record data** : データ型 (形式と意味はレコードタイプによって異なる)。

次の表は、Cisco Prime Network Registrar でサポートされているすべてのリソース レコードタイプのリストです。フィールドの構文、フィールドの説明、および Cisco Prime Network Registrar GUI でのフィールドの表示について説明します。

表 1:リソース レコード

レコー ド	番号	名前	構文と説明	RFC
A	1	Host Address : ゾーンの名前からアドレスへのマッピング	<p><i>name ttl class A address</i></p> <p>Web UI : [ゾーンのホスト追加または編集 (Add or Edit Host for Zone)] ページ : ホスト名、IP アドレス、または [ゾーンのリソースレコード (Resource Records for Zone)] ページ : [名前 (Name)]、[TTL]、[タイプ (Name)]、[データ (Name)]</p> <p>CLI コマンド :</p> <pre>nrcmd> zone example.com addRR host123 3600 IN A 192.168.40.123</pre>	1035
A6	38	IPv6 Address : (廃止。代わりに AAAA レコードを使用)	<p><i>name ttl class A address</i></p> <p>データでは、サフィックスアドレスは、ネットワーク順序 (上位のオクテットが最初) でエンコードされる IPv6 アドレスです。128 からプレフィクス長を差し引いた値に相当するビット数に完全に十分であるオクテットがこのフィールドには必要です。0 ~ 7 の先頭パッドビットを使用して、このフィールドを整数のオクテットにする必要があります。パッドビットが存在する場合は、ゾーンファイルをロードするときに、パッドビットをゼロに設定し、受信時に無視する必要があります。次に例を示します。</p> <p>2001:0:734c:c0::</p> <p>Web UI : [ゾーンのリソース レコード (Resource Records for Zone)] ページ : [名前 (Name)]、[TTL]、[タイプ (Type)] = A6、[データ (Data)] = <i>prefixlength suffixaddr prefixname</i>、次の形式のデータ :</p> <p>CLI コマンド :</p> <pre>0 2345:00c1:ca11:0001:1234:5678:9abc:def0</pre> <pre>nrcmd> zone example.com addRR host456 A6 0 1345:c1:ca11:1:1234:5678:9abc:def0</pre>	6563

レコード	番号	名前	構文と説明	RFC
AAAA	28	IPv6 アドレス (IPv6 Address)	<p><i>name ttl class AAAA address</i></p> <p>データは、4 桁の 16 進数 8 セットがコロンで区切られる IPv6 アドレス形式です。4 桁の最初のセットは、アドレスの上位 16 ビットです。セットの先行ゼロを省略し、セットの値がゼロの場合はそのセット値を省略できます。</p> <p>Web UI : [ゾーンのリソースレコード (Resource Records for Zone)] ページ : [名前 (Name)], [TTL], [タイプ (Type)] = AAAA、[データ (Data)] = <i>address</i></p> <p>CLI コマンド :</p> <pre>nrcmd> zone example.com addRR host456 AAAA 1345:c1:ca11:1:1234:5678:9abc:def0</pre>	3596
AFSDB	18	Andrew File System (AFS) データベース (Andrew File System (AFS) Data Base)	<p><i>name ttl class AFSDB subtype hostname</i></p> <p>subtype は 1 (AFS セルデータベース サーバー) または 2 (DCE 認証ネームサーバー) のいずれかです。hostname は、所有者が名前を付けたセルのサーバーのホスト ドメイン名です。</p> <p>Web UI : [ゾーンのリソースレコード (Resource Records for Zone)] ページ : [名前 (Name)], [TTL], [タイプ (Type)] = AFSDB、[データ (Data)] = <i>subtype hostname</i></p> <p>CLI コマンド :</p> <pre>nrcmd> zone example.com addRR host4 AFSDB 1 AFSDBhost.example.com.</pre>	1183
AXFR	252	Authoritative Zone Transfer	<p>プライマリネームサーバーからセカンダリネームサーバーにゾーンファイル全体を転送します。AXFR レコードは、通常のゾーン ファイルでは使用されません。プライマリ DNS サーバーからゾーンファイルを複製するため、セカンダリ DNS サーバーで使用されます。</p> <p>Web UI : [ゾーンのリソースレコード (Resource Records for Zone)] ページ : [名前 (Name)], [TTL], [タイプ (Type)] = AXFR、[データ (Data)] = <i>Auth Zone Transfer</i></p>	1995

レコード	番号	名前	構文と説明	RFC
CAA	257	Certification Authority Authorization	<p><i>name ttl class CAA flag tag value</i></p> <p>データには、<i>flag</i>、<i>tag</i>、および <i>value</i> が含まれます。ここで、</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>flag</i> : バイトサイズ。現在、ビット0とビット7が使用され、その他のビットは将来の使用のために予約されています (サポートされる値: 0、1、および128)。 • <i>tag</i> : US-ASCII 文字と数字のゼロ以外のシーケンス。タグの長さは1以上15以下である必要があります。 • <i>value</i> : 文字列。 <p>Web UI : [ゾーンのリソースレコード (Resource Records for Zone)] ページ : [名前 (Name)]、[TTL]、[タイプ (Type)]=CAA、[データ (Data)] = <i>flag tag value</i></p> <p>CLI コマンド :</p> <pre>nrcmd> zone example.com addRR test1 CAA 0 issue comodoca.com</pre>	6844
CNAME	5	Canonical Name : エイリアスまたはニックネーム	<p><i>alias ttl class CNAME canonicalname</i></p> <p>他のリソース レコードが CNAME に関連付けられていないようにしてください。エイリアスは、外部向けに簡単に覚えられる単一名が必要なときに役立ちます。ホスト名が変わるときにエイリアスを使用することもできます。この場合は、ユーザーが元の名前を使用するときに、それを新しい名前に解決できるように、CNAME ポインタが必要です。</p> <p>Web UI : [ゾーンのリソースレコード (Resource Records for Zone)] ページ : [名前 (Name)] = <i>alias</i>、[TTL]、[タイプ (Type)] = CNAME、[タイプ (Type)]、[データ (Data)] = <i>canonicalname</i></p> <p>CLI コマンド :</p> <pre>nrcmd> zone example.com addRR host456 CNAME host1234</pre>	1035

レコード	番号	名前	構文と説明	RFC
DHCID	49	Dynamic Host Configuration Identifier : (RFC 4701)	<p><i>name ttl class DHCID data</i></p> <p>DNS サーバーはこの RR を使用して、DHCP クライアントとサーバーが DNS を自動的に更新できるようにします。ユーザーはこの RR を設定できません。データは、クライアントメッセージとドメイン名の一方向ハッシュ計算の結果です。IPv6 アドレスのサンプル RR 出力 :</p> <pre>chi6.example.com IN DHCID (AAIBY2/AuCccgoJbaxcQc9TUapptP691OjxfNuVAA2kjEA=)</pre>	4701
HINFO	13	Host Info : ホストのハードウェアおよびソフトウェア情報	<p><i>name ttl class HINFO cpu os</i></p> <p>データは、ハードウェア (CPU) とオペレーティングシステムです。</p> <p>Web UI : [ゾーンのリソースレコード (Resource Records for Zone)] ページ : [名前 (Name)]、[TTL]、[タイプ (Type)] = HINFO、[データ (Data)] = <i>cpu os</i></p> <p>CLI コマンド :</p> <pre>nrcmd> zone example.com addRR host5 HINFO CPU1 OS2</pre>	1035
ISDN	20	統合サービスデジタル網 (ISDN) アドレス (Integrated Services Digital Network (ISDN) Address)	<p><i>name ttl class ISDN ISDNnumber [subaddr]</i></p> <p>データは、所有者の ISDN 番号、直通ダイヤル (存在する場合) 、およびオプションの ISDN サブアドレス文字列です。</p> <p>Web UI : [ゾーンのリソースレコード (Resource Records for Zone)] ページ : [名前 (Name)]、[TTL]、[タイプ (Type)] = ISDN、[データ (Data)] = <i>ISDNnumber [subaddr]</i></p> <p>CLI コマンド :</p> <pre>nrcmd> zone example.com addRR host6 ISDN ISDN88888</pre>	1183

レコード	番号	名前	構文と説明	RFC
IXFR	251	増分ゾーン転送	<p>増分転送 (IXFR) は、ゾーン内の変更を IXFR サーバーから IXFR クライアントに転送する効率的な手段です。ゾーンの変更部分だけを転送するので、提案どおりより効率的なメカニズムです。これらのメカニズムの目的は、一連の DNS ネームサーバーが特定のゾーンに対して一貫した権威を維持できるようにすることです。</p> <p>Web UI : [ゾーンのリソースレコード (Resource Records for Zone)] ページ : [名前 (Name)]、[TTL]、[タイプ (Type)] = IXFR</p>	1995
MB	7	メールボックスドメイン名 (Mailbox Domain Name)	<p><i>name ttl class MB mbox</i></p> <p>データは、指定されたメールボックスがあるホストのドメイン名です。</p> <p>Web UI : [ゾーンのリソースレコード (Resource Records for Zone)] ページ : [名前 (Name)]、[TTL]、[タイプ (Type)] = MB、[データ (Data)] = <i>mbox</i></p> <p>CLI コマンド :</p> <pre>nrcmd> zone example.com addRR host7 MB mailbox.example.com.</pre>	1035
MD	3	メールの宛先 (Mail Destination) : (廃止。代わりに MX を使用)	メール宛先 (廃止 : MX を使用)	1035
MF	4	メールフォワーダ (Mail Forwarder) : (廃止。代わりに MX を使用)	メールフォワーダ (廃止 : MX を使用)	1035

レコード	番号	名前	構文と説明	RFC
MG	8	メールグループメンバー (Mail Group Member)	<p><i>name ttl class MG mgroup</i></p> <p>データは、メールボックスグループ（メーリングリスト）のドメイン名です。</p> <p>Web UI : [ゾーンのリソースレコード (Resource Records for Zone)] ページ : [名前 (Name)], [TTL]、[タイプ (Type)] = MG、[データ (Data)] = <i>mgroup</i></p> <p>CLI コマンド :</p>	1035
MINFO	14	メールボックス情報 (Mailbox Info)	<p><i>name ttl class MINFO respmbx errormsg</i></p> <p>データは、メーリングリストのためのメールボックス、およびエラーメッセージを受信するためのメールボックスです。</p> <p>Web UI : [ゾーンのリソースレコード (Resource Records for Zone)] ページ : [名前 (Name)], [TTL]、[タイプ (Type)] = MINFO、[データ (Data)] = <i>respmbx errormsg</i></p> <p>CLI コマンド :</p> <pre>nrcmd> zone example.com addRR host7 MINFO resp.example.com. error.example.com.</pre>	1035
MR	9	メール名の変更 (Mail Rename)	<p><i>name ttl class MR newmbx</i></p> <p>データは、所有者のメールボックス名を変更するメールボックス名です。</p> <p>Web UI : [ゾーンのリソースレコード (Resource Records for Zone)] ページ : [名前 (Name)], [TTL]、[タイプ (Type)] = MR、[データ (Data)] = <i>newmbx</i></p> <p>CLI コマンド :</p> <pre>nrcmd> zone example.com addRR host7 MR renamemb.example.com.</pre>	1035

レコード	番号	名前	構文と説明	RFC
MX	15	MailExchanger : ドメイン名の メール配信先	<p><i>name ttl class MX pref mxname</i></p> <p>データは、プリファレンス値（レコードの優先順位を決める 16 ビット整数で、小さい値の方が優先される）、および所有者のメールエクスチェンジャのドメイン名です。</p> <p>Web UI : [ゾーンのリソースレコード (Resource Records for Zone)] ページ : [名前 (Name)]、[TTL]、[タイプ (Type)] = MX、[データ (Data)] = <i>pref mxname</i></p> <p>CLI コマンド :</p> <pre>nrcmd> zone example.com addRR host8 MX 10 exchanger.example.com.</pre>	1035

レコード	番号	名前	構文と説明	RFC
NAPTR	35	<p>Naming Authority Pointer : 新しいドメインラベルまたは Universal Resource Identifier (URI) を生成します。その後、DNS を使用して、ドメイン名の構文にない多くのリソース名のサービスを検索できます。</p>	<p><i>name ttl class NAPTR order pref flags serv regexp replace</i></p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>order</i> : ルールの正しい順序に応じた NAPTR レコードの処理順序を示す 16ビットの整数。小さい値が大きい値より前に処理されます。 • <i>pref</i> : <i>order</i> 値が等しい NAPTR レコードの処理順序を示す 16 ビットの符号なし整数。小さい値が大きい値より前に処理されます。 • <i>flags</i> : フィールドの書き換えと解釈を制御するフラグを含む文字列。セット [A-Z0-9] (大文字と小文字を区別しない) からの単一文字。S、A、およびUのフラグは端末ルックアップを表し、Pフラグはアプリケーション側のアルゴリズムの残りの部分がプロトコル別に実行される必要があることを示します。 • <i>serv</i> : 有効なプロトコルまたはサービス。 • <i>regexp</i> : 検索する次のドメイン名を構成するためにクライアントが保持する元の文字列に適用される代入式を含む文字列。(一般的な正規表現の使用については、『Cisco プライム ネットワーク レジストラ 11.0 管理ガイド』の「一般的な正規表現の値」の表を参照してください)。 • <i>replace</i> : [フラグ (<i>flags</i>)] フィールドの値に応じて NAPTR、SRV、またはアドレス レコードを照会する次の FQDN。 <p>Web UI : [ゾーンのリソースレコード (Resource Records for Zone)] ページ : [名前 (Name)]、[状態 (State)]、[TTL]、[タイプ (Type)] = NAPTR、[データ (Data)] = <i>order pref flags service regexp replace</i></p> <p>CLI コマンド :</p> <pre>nrcmd> zone 8.6.4.e164.arpa addRR 4.3.2.1.6.7.9 naptr 100 10 u sip+E2U /^.*\$/sip:info@tele2.se/ .</pre>	2915

レコード	番号	名前	構文と説明	RFC
NS	2	Name Server : ゾーンの権威 サーバー	<p><i>name ttl class NS nameserver</i></p> <p>ネーム サービスを提供するマシンは、所有者ドメインに存在してはなりません。ドメインごとに、少なくとも1つのNSレコードが必要です。ドメインのNSレコードは、ドメインの委任先ゾーンとドメイン自体の両方に存在する必要があります。NSレコード名には同等のAレコードが必要です（NSレコード名がエイリアスを指すことはできません）。</p> <p>Web UI : [ゾーンの追加または編集 (Add or Edit Zone)] ページのネームサーバー : [NS TTL]、[ネームサーバーの追加 (Add Nameserver)]</p> <p>CLI コマンド :</p> <pre>nrcmd> zone example.com addRR @ NS DNSserv2.example.com.</pre>	1035
NSAP	22	ネットワーク サービス アク セス ポイント (NSAP) アド レス (Network Service Access Point (NSAP) Address)	<p>名前 <i>ttl</i> クラス <i>NSAP Nsapaddr</i></p> <p>データはNSAPAddrです。これは、割り当て権威によって割り当てられるオクテット値で、TXT およびHINFOレコードで使用されるタイプの文字列です（RFC 1706を参照）。</p> <p>Web UI : [ゾーンのリソースレコード (Resource Records for Zone)] ページ : [名前 (Name)]、[TTL]、[タイプ (Type)]=NSAP、[データ (Data)] = <i>NSAPAddr</i></p> <p>CLI コマンド :</p> <pre>nrcmd> zone example.com addRR host10 NSAP 39840f80005a000000001e13708002010726e00</pre>	1706
NSEC	47	Next Secure record	<p>DNSSECの一部：名前が存在しないことの証明に使用されます。（廃止）NXTレコードと同じ形式を使用します。</p> <p>Web UI : [ゾーンのリソースレコード (Resource Records for Zone)] ページ : [名前 (Name)]、[TTL]、[タイプ (Type)]=NSEC、[データ (Data)] = <i>Next Secure record</i></p>	

レコード	番号	名前	構文と説明	RFC
OPT	41	DNS EDNS(0) Options	<p>これは、EDNS をサポートするために必要な「疑似 DNS レコードタイプ」です。OPT 疑似 RR（別名「メタ RR」）を要求の追加データセクションに追加できます。受信した要求に OPT レコードが存在する場合、対応する応答側は各応答に OPT レコードを含める必要があります。</p> <p>Web UI : [ゾーンのリソースレコード (Resource Records for Zone)] ページ : [名前 (Name)], [TTL]、[タイプ (Type)] = OPT</p>	
PTR	12	Pointer : 逆マッピング	<p><i>name ttl class PTR dname</i></p> <p>データは、所有者によって示されたリバースレコードがあるホストのドメイン名です。PTR レコードは、アドレスを名前に変換するために、特に in-addr.arpa ゾーンでの逆マッピングに使用されます。PTR はエイリアスでなく正式名を使用します。PTR レコード内の名前は、リバース名のローカル IP アドレス部分です。</p> <p>Web UI : [ゾーンのリソースレコード (Resource Records for Zone)] ページ : [名前 (Name)], [状態 (State)], [TTL]、[Type (タイプ)] = PTR、[Data (データ)] = <i>dname</i></p> <p>CLI コマンド :</p> <pre>nrcmd> zone example.com addRR 45.40.168.192.in-addr.arpa. PTR host1234</pre>	1035
RP	17	担当者 (Responsible Person)	<p><i>name ttl class RP mbox txt host</i></p> <p>データは、担当者のメールボックスのドメイン名、および TXT レコードが存在するホストのドメイン名です。</p> <p>Web UI : [ゾーンのリソースレコード (Resource Records for Zone)] ページ : [名前 (Name)], [TTL]、[タイプ (Type)] = RP、[データ (Data)] = <i>mbox txt host</i></p> <p>CLI コマンド :</p> <pre>nrcmd> zone example.com addRR host7 RP resp.example.com. text.example.com.</pre>	1183

レコード	番号	名前	構文と説明	RFC
RT	21	経由ルート (Route Through)	<p><i>name ttl class RT pref intermediatehost</i></p> <p>データは、<i>pref</i> (このレコードを同じ所有者の他のレコードより優先することを示す 16 ビットの整数)、および <i>intermediatehost</i> (所有者に到達するための中継ホストのドメイン名) です。</p> <p>Web UI : [ゾーンのリソースレコード (Resource Records for Zone)] ページ : [名前 (Name)]、[TTL]、[タイプ (Type)]=<i>RT</i>、[データ (Data)]=<i>pref intermediatehost</i></p> <p>CLI コマンド :</p> <pre>nrcmd> zone example.com addRR host7 RT 10 routthru.example.com.</pre>	1183
SOA	6	Start of Authority : すべてのゾーンに 1 つの SOA レコードが必要です。	<p><i>name ttl class SOA primeserver hostadmin (serial refresh retry expire minimum)</i></p> <p>Web UI : [ゾーンの追加または編集 (Add or Edit Zone)] ページの SOA 属性 : [シリアル番号 (Serial Number)]、[SOA TTL]、[ネームサーバー (Nameserver)]、[連絡先の電子メール (Contact E-Mail)]、[セカンダリ更新 (Secondary Refresh)]、[セカンダリの再試行 (Secondary Retry)]、[セカンダリの有効期限 (Secondary Expire)]、[最小 TTL (Minimum TTL)]</p> <p>CLI コマンド :</p> <pre>nrcmd> zone example.com addRR @ 172800 IN SOA ns hostadmin 1 10800 3600 604800 86400</pre>	1035
SPF	99	Sender Policy Framework	<p>Sender Policy Framework (SPF) レコードはドメインネーム サービス (DNS) TXT レコードの一種であり、ドメインに代わって電子メールを送信することが許可されているメールサーバーを識別します。SPF レコードの目的は、ドメインの送信元アドレスを偽装して送られるスパム メッセージを検出して阻止することです。</p> <p>SPF レコードは、1 つのテキスト文字列として定義されます。</p>	7208

レコード	番号	名前	構文と説明	RFC
SRV	33	Service Location	<p><i>name ttl class SRV priority weight port target</i></p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>priority</i> : 所有者の SRV レコードのうち優先するレコードを指定する 16ビットのプライオリティ。 • <i>weight</i> : 同じプライオリティ レベルのレコードに重みを与える 16ビット。 • <i>port</i> : サービスを実行するポートを示す 16ビット。 • <i>target</i> : 指定されたポートで実行されるホストのドメイン名。 <p>管理者は、1つのドメインに対して複数のサーバーを使用したり、ホスト間でサービスを簡単に移動したりすることができます。一部のホストをサービスのプライマリ サーバーとして指定し、他のホストをバックアップとして指定することもできます。クライアントはドメインに対する特定のサービスまたはプロトコルを問い合わせ、利用可能なサーバーの名前を得られます。</p> <p>Web UI : [ゾーンのリソースレコード (Resource Records for Zone)] ページ : [名前 (Name)]、[TTL]、[タイプ (Type)]=SRV、[データ (Data)] = <i>priority weight port target</i></p> <p>CLI コマンド :</p> <pre>nrcmd> zone example.com addRR host2 SRV 10 1 60 host7.example.com.</pre>	2782
TSIG	250	Transaction Signature	<p>キー名。これは、クライアントとサーバーで一意である必要があります。承認されたクライアントからの動的更新、または承認された再帰ネームサーバーからの応答を DNSSEC と同様に認証するために使用できます。</p>	2854

レコード	番号	名前	構文と説明	RFC
TXT	16	テキスト	<p><i>name ttl class TXT textstring</i></p> <p>データは、任意のタイプの情報を含むことができる1つ以上のテキスト文字文字列です。</p> <p>Web UI : [ゾーンのリソースレコード (Resource Records for Zone)] ページ : [名前 (Name)]、[TTL]、[タイプ (Type)]=TXT、[データ (Data)] = <i>textstring</i></p> <p>CLI コマンド :</p> <pre>nrcmd> zone example.com addRR host2 TXT "this message"</pre>	1035
URI	256	Uniform Resource Identifier; ユニフォーム リソース識別子	<p><i>name ttl class URI priority weight target</i></p> <p>データには、<i>priority</i>、<i>weight</i> および <i>target</i> が含まれます。ここで、</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>priority</i> : この RR のターゲット URI の優先順位。範囲は、0 ~ 65535 です。値が小さいほど優先順位が高くなります。 • <i>weight</i> : 同じ優先順位を持つレコードの相対的な重み。範囲は、0 ~ 65535 です。値が大きいほど、優先順位が高くなります。 • <i>target</i> : 二重引用符で囲まれたターゲットの URI。このフィールドの長さは、ゼロより大きくする必要があります。 <p>Web UI : [ゾーンのリソースレコード (Resource Records for Zone)] ページ : [名前 (Name)]、[TTL]、[タイプ (Type)]=URI、[データ (Data)] = <i>priority weight target</i></p> <p>CLI コマンド :</p> <pre>nrcmd> zone example.com addRR _ftp._tcp URI 10 1 "ftp://ftp1.example.com/public"</pre>	7553

レコード	番号	名前	構文と説明	RFC
WKS	11	既知のサービス (Well Known Services)	<p><i>name ttl class WKS addr protocol servicelist</i></p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>addr</i> : 32 ビット IP アドレス。 • <i>protocol</i> : TCP または UDP の 8 ビット IP プロトコル番号。 • <i>servicelist</i> : サービスの 8 ビットの倍数での可変長ビットマップ (TIME、TELNET、FTP、または SMTP) 。 <p>Web UI : [ゾーンのリソースレコード (Resource Records for Zone)] ページ : [名前 (Name)]、[TTL]、[タイプ (Type)]=<i>WKS</i>、[データ (Data)]=<i>addr protocol servicelist</i></p> <p>CLI コマンド :</p> <pre>nrcmd> zone example.com addRR host8 WKS 192.168.40.56 TCP TELNET</pre>	1035
X25	19	X.25 アドレス (X.25 Address)	<p><i>name ttl class X25 PSDNaddr</i></p> <p>データは、所有者に関連付けられている X.121 番号計画のパブリックスイッチデータネットワーク (PSDN) アドレスの文字列です。</p> <p>Web UI : [ゾーンのリソースレコード (Resource Records for Zone)] ページ : [名前 (Name)]、[TTL]、[タイプ (Type)]=<i>X25</i>、[データ (Data)]=<i>PSDNaddr</i></p> <p>CLI コマンド :</p> <pre>nrcmd> zone example.com addRR host9 IN X25 311061700956</pre>	1183

